

目標達成計画

作成日: 平成 25年 4月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	外部評価を免除される年度まで毎年、4月に自己評価を実施していたが制度の変更時期も重なり自己評価の実施を逸してしまった。自己評価を運営推進会議に諮り、会議の充実を図りながらサービスを向上されたい。	外部評価の免除された年度も自己評価を実施する。 また、運営推進会議にて自己評価を諮る。	外部評価を時期的に10月頃受けているケースが多いので、自己評価も10月頃に計画・実施する。外部評価の結果等と同様に自己評価も運営推進会議に諮る。	7か月
2	6	身体拘束実施事例において、家族との相談内容について日誌に記録しているが、重要事項説明書に記載されている「文書による同意」は得ていない。入居者の安全を確保しつつ身体拘束の無いケアの実施が期待される。	身体拘束に当たっては文書による家族の同意を得る。 入居者の安全を確保しながら身体拘束のないケアに取り組む	身体拘束に当たって文書により同意を得てない事例に対して、家族に十分な説明を行い文書により同意を得て対応を行っている。また、その文書においては定期的にケアの見直しを行い、身体拘束を無くすことも目標として明記している。	1か月
3	33	重度化や終末期に向けた方針が作成されていない。	重度化や終末期に向けた方針を作成する。	利用者及び家族の要望を取り入れ、スタッフによる検討委員会を設置し、具体的な方針(文書)を作成する。	8か月
4	35	災害時に避難できるよう消防署の指導を頂く機会を、できるだけ多く持つことを期待されている。	本年度も2月に消防署の立ち合いで防災訓練を実施できたので今後も継続して毎年、消防署の指導を受けながらより多く防災訓練を計画・実施する。	3月と10月に防災訓練を計画しているが、消防署の指導を受け実施する。	6か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。